



網走養護学校だより

令和4年度
第 5 号
(通222巻号)
2月10日発行

TEL 0152-48-2137

SDG s（持続可能な開発目標）の取組

北海道網走養護学校教頭 山 崎 文 隆

最近テレビやネット等で頻繁に話題となっている「SDG s *1」という言葉を映像で見たり、聞いたことはありますか？

これは、2015 年に開催された国連サミットで採択され、持続可能でより良い世界を目指す 2030 年までに達成すべき目標で、将来の子ども達が安心して暮らしていける社会を作るために掲げられた、国際目標です。



日本の学校教育では、この 17 個の個別具体的な目標実践の基礎となっているのが、E S D *2（持続可能な社会の創り手を育む教育）と言われ 2000 年代から学校教育で実践されてきました。

特に、課題解決に必要な「7 つの能力・態度」①批判的に考える力②未来像を予測して計画を立てる力③多面的・総合的に考える力④コミュニケーションを行う力⑤他者と協力する力⑥つながりを尊重する態度⑦進んで参加する態度 があります。また、上記の SDGS17 の目標中でも 4 番目の「絵本のマーク=質の高い教育をみんなに」が ESD と関連性の強いものとなっています。

本校では、新型コロナ禍ではありましたが、今年度、運動会・学校祭・宿泊研修・見学旅行・水治学習・寮祭等の学校行事や普段の授業の中でも 7 つの能力や態度の育成における実践に日々取り組んでいます。今後も、子どもたちの学びが活性化され、その中で育つ子どもたちの成長がとても楽しみです。

また、I C T の効果的活用やインターネット上の情報の中から自分がほしい正しい情報を引き出し、活用していく力を育んだり、学習内容や授業の方法を充実させたりすることが必要であり、今後も情報活用能力の充実を進めていきたいと考えています。

3 学期も残りわずかとなりましたが、保護者の皆様、地域、関係機関の皆様の御理解と御協力をいただきありがとうございました。今後も新型コロナウイルス感染症の基本的な（マスク・手洗い・換気・検温等）対応を徹底し学習活動の継続し、健康に留意して有意義に過ごしていただきたいと思います。

*1（Sustainable・Development・Goals）持続可能な開発目標、これからもずっと続いていく、よりよい世界をつくるための目標で、17 個のゴールが設定されています。

*2（Education for Sustainable・Development 持続可能な開発のための教育で、6 つの視点と 7 つの能力・態度がある。

🚌🚌🚌 待ちに待った宿泊研修！ 🚌🚌🚌

11月1日～2日まで高等部1年生の3人は、北見に宿泊研修に行ってきました。北見には何度も行ったことのある3人でしたが、バスやJRを使って行く機会はあまりなかったため、友達や先生との活動が楽しそうでした。最初の見学地は北網圏北見文化センターでした。プラネタリウムや科学館、博物館を見学し、特にプラネタリウムは初めての経験だったようで、「綺麗だった。」と嬉しそうでした。ホテルでは、楽しみにしていた温泉、夕食を楽しみ、就寝前は友達や先生と色々なお話をして盛り上がりました。2日目は北見工業大学でコンクリートを使った飾りづくり体験をしました。大学の教授からコンクリートの特徴を学んだあと、実際にコンクリートを型に流し込み、成形をしてオリジナルの作品を完成させていた。貴重な体験をいくつもすることができ、今後の学校生活や来年の修学旅行にもつながる充実した2日間になったと思います。(文責：福島)



🎄🧦🎄🧦🎄 待ちました！クリスマス会 🎄🧦🎄🧦🎄

今年も、コロナ感染症拡大の影響で、各棟単位の分散での開催になりましたが、舎生たちの笑顔が溢れるクリスマス会となりました。

まず、行事の1ヶ月ほど前から、クリスマス会のメニューを決める、「メニュー投票」に始まり、「クリスマスツリーの飾り付け」、行事開催を知らせる「ポスター作り」、会食に招く、校長先生たちへの「招待状作成」とクリスマス会に向けて舎生たちも協力して準備をしました。当日は、B棟、E棟は時間をずらし食堂にて、D棟はD棟ホールにてクリスマス会を実施しました。それぞれの棟で、「クリスマスバージョンブラックパネルシアター」の映像と、クリスマスや冬の季節にちなんだ映像鑑賞で楽しみ、「クリスマスバージョンとんとん紙相撲大会」を会食の時の挨拶担当を目指し競いました。とんとん紙相撲はどの棟も白熱した様子で舎生達も声高らかに盛り上がっていました。

第2部の会食は、各棟の優勝者が前に出て、挨拶担当決定のじゃんけん大会から始まりました。みごと優勝したのはE棟舎生で、元気よく挨拶をしました。会食の内容は自分たちで投票したメニューに目を輝かせながら、おいしそうに堪能していました。

1部も2部も舎生達の元気な笑い声が聞こえた楽しいクリスマス会となりました。(文責：戸田)



編集後記

本年もどうぞよろしくお願いいたします。今号の学校便りでは、高等部1年生の宿泊研修と寄宿舎クリスマス会の様子をお伝えしました。次号は、今年度最後の学校便り発行になります。(文責：塩越)